

# Weekly Bulletin

2018-2019



RI会長  
ラリー・ラシン



## BE THE INSPIRATION

### 静岡東ロータリークラブ

会長／杉田至弘 幹事／川口尚宣

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
杉田至弘

## 第 2867 回例会

(合同例会)

平成 30 年 8 月 21 日 天候 晴

《司 会》 川口 尚宣 君

《合 唱》 「それでこそロータリー」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 国際ロータリー第 2620 地区  
 ガバナー 星野 喜忠 様  
 ガバナー補佐 浅原 諒蔵 様  
 地区副幹事 天野 忠春 様

### 《会長挨拶要旨》

杉田 至弘 会長



皆さん！こんにちは！  
 今日のガバナー訪問は静岡東クラブと静岡日本平、静岡南の3クラブが合同でお出迎えすることになりました。静岡東クラブが当番幹事ですので僭越ながら挨拶をさせていただきます。改めまして星野喜忠ガバナー

そしてガバナー事務局の皆様の来訪を心より歓迎申し上げます。

これからガバナーがどんなお話しをされるかは楽しみにしてほしいと思いますが 16 人しか会員がいない大月ロータリー所属の星野喜忠ガバナーがどんな方か知っておきましょう。といいながら私が下手な紹介をするより、ガバナー幹事の小俣理美さんが「ロータリーの友」7月号に寄せた文章が素晴らしいので、ここで読ませて頂きます。

“星野さんは山梨県大月市生まれ。生家は「星野家住宅」として国の重要文化財に指定されています。本人は、周囲に「納豆屋のおやじ」と言っておりますがそれは世を忍ぶ言い方。確かに「富士納豆」という大粒納豆を製造しています。レトロなパッケージの納豆は皆さま一度ご賞味する価値があると思います。日ごろはレトロなエプロンをしてひげをたくわえ、流暢な英語を話しています。初めて星野家住宅を訪れたお客

様は「この人は何者だろう？」と不思議に思うかもしれません。

お父様の仕事の関係から東京で育ち、大学時代に知り合った富子夫人とこちらも仕事でマレーシアに6年ほど在住。そのこともあって英語が堪能なのです。その後、東京の会社を退職、大月に夫人と2人で帰郷し現在に至っています。大月 RC には 2001 年に入会。ご祖父さまがクラブの創立会員でした。大月に戻ってからは毎年星野家住宅を使用しての本陣コンサートや、所蔵の古いひな人形の展示、大月の大豆を原料とした大月納豆の製造など、地域の文化や野菜を使った地域おこしに一役買っています。

国際的な活躍の場から、地元に戻ってもロータリアンとして外に発信を続ける星野さん。ガバナー年度には 14 の目標を掲げ、地区内ロータリアンとともに「チーム星野」で邁進していくことと確信しています。

お読みになった方も多と思います。

星野家住宅と「富士納豆」の職場見学を実現してみたい気になりますね。私は食べ物にそれほど好き嫌いはない方ですが納豆は嫌いです。あの「臭いとねばねば」は好きになりません。家内や息子たちが好んで食べるのを私は無視して他のものを食べています。今回家族にそっと「富士納豆」を取り寄せました。星野ガバナーらしく納豆嫌いでも食べられる色んなレシピが紹介されています。今日、朝食に挑戦して6回目です。中味はかりかりにトーストしたパンに納豆、醤油、たれ、からしを良く混ぜて塗り、紫蘇の葉を挟むサンドです。ねばねばはどうにもなりません。香りはまあまあです。これから納豆が好きになるかまでは分かりませんが嫌いな方、一度挑戦してみてください

最後に少し静岡東のPRをさせていただきます。RI 会長も星野ガバナーも年初の挨拶の中で「残念なことにロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を享受していない」とおっしゃっています。私も常々その通りだと反省しております。会員増強、財団活動も多



くの人に理解がなければ成果に繋がりません。静岡東はこの10月に創立60周年を迎えるのを期に会員のみならず一般の方々に少しでも理解を求めするため、周年事業として明年1月9日～14日までの一週間(実質6日間)静岡駅前松坂屋静岡店で「静岡東創立60周年事業、金澤翔子書の世界 “共に生きる(仮題)” 併設静岡東RC60周年の歩み」を開催します。内容については鋭意検討中です。是非皆さまのご意見、ご理解を賜りたくご案内し挨拶とさせていただきます。

#### 《来賓卓話》

国際ロータリー第2620地区ガバナー星野 喜忠 様



日本のロータリーは1920年東京ロータリークラブと発足して誕生し再来年で100年を迎えます。100年を祝う記念として「鐘」を作成いたしました。

この「鐘」は34個作成し、全国34地区に配布いたしました。

自己紹介いたしますと私は1945年山梨県大月市生まれで

ございます。祖父は静岡県島田市の出身、父は藤枝市出身で静岡県とは円が深いと感じております。大月の実家は江戸時代からある「星野屋住宅」として国指定の重要文化財となっております。大月の実家は当時から色んな商売をしていました。「穀物商」「薬問屋」「林業」「酒屋」等・・・そして今は「納豆屋」を営んでおります。祖父が北大で納豆菌を研究していた関係で、それを商売として山梨県で初めて開業いたしました。私は大学卒業後サラリーマンをし、55歳で家業に入り実家を継いでいる次第です。その後2001年に大月ロータリークラブに入会し、その会員数15名だった小さな会の者がガバナーを務めております。大きなクラブの協力を得ながら取り組んでいる次第です。

私の今年の地区目標のうち一番大事なことは「新しいグループ体制」の定着させることだと考えております。グループの再編には賛否両論がありましたが、これを機に新しい方に出会っていただき、新しいクラブに接していただき、メイクアップもしていただき、そしてまた新しいことを共同で始めるというようなことを考えていただくような、そんな新しいグループの人付き合いを開始して何かを得ていただきたい。ロータリークラブの次の20年30年のために何をしていくべきかを考えて行くべきです。また米山梅吉記念館は50周年を迎えます。静岡のロータリークラブの皆様には多大なご支援をいただき心から感謝申し上げます。

また、できる限りのご協力をよろしくお願い申し上げます。ロータリークラブとして、会員増強という課題が続いています。そのためにロータリーを理解しリーダーシップを発揮できる潜在能力を有する人材そして今後を考えるために人材育成の機関をつくりたいと思っております。

これが新しい人材育成機関『Rotary Leadership Institute』です。以後この『RLI』の活動をしっかり理解していただきたいと思っております。本年の地区大会は10月27日、28日山梨甲府富士屋開催いたします。是非ご参加お願い申し上げます。その際に『RLI』先進地区のガバナーの講演とデモンストレーションを予定しております。皆様のご理解をいただきたく存じます。これから一年間お世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



(会報作成 松本 安之)